

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	第1回入間市公共施設あり方検討委員会
開 催 日 時	平成 26年11月10日(月) 午後4時30分 開会・午後6時30分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟5階 503会議室
議 長 氏 名	副市長 友山宏一 (議長選任まで) 安登利幸
出席委員(者)氏名	入間市公共施設あり方検討委員会 委員 安登利幸 木内勝司 倉斗綾子 平林佳代子 山岡靖義
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	企画部副参事(総合政策担当) 鳥山政之 企画課主幹 浅見泰志 企画課副主幹 増田暁伸
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 副市長挨拶</li> <li>4 委員紹介</li> <li>5 委員長選任</li> <li>6 委員長挨拶</li> <li>7 趣旨説明</li> <li>8 議題(公開) <ul style="list-style-type: none"> <li>◎入間市公共施設あり方検討委員会の公開等について</li> <li>(1)入間市公共施設マネジメント白書から見た入間市の課題について</li> <li>(2)入間市公共施設最適化基本方針の構成案について</li> <li>(3)入間市の公共施設の課題と特徴について</li> <li>(4)公共施設あり方検討委員会の論点について</li> </ul> </li> <li>9 その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)委員会スケジュールについて</li> <li>(2)事務連絡</li> </ul> </li> <li>10 閉会</li> </ol>
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし

配 布 資 料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第1回入間市公共施設あり方検討委員会 次第</li> <li>2 入間市公共施設あり方検討委員会 委員名簿</li> <li>3 入間市公共施設あり方検討委員会要綱</li> <li>4 入間市公共施設あり方検討委員会の会議の傍聴等に関する要領</li> <li>5 入間市審議会等の会議の公開に関する要綱</li> <li>6 公用施設あり方検討委員会 会議構成案(検討項目)</li> <li>7 入間市公共施設最適化基本方針 構成案</li> </ol>
事務局職員職氏名	<p>企画部長 西勝啓祐  企画部次長 加藤保夫  企画部副参事(総合政策担当) 鳥山政之  企画課主幹 浅見泰志  企画課副主幹 増田暁伸</p>
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 ( 2 )

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

1～6 略

7 趣旨説明

事務局から、公共施設最適化基本方針を4か月間で策定していくことを説明した。

8 議題

◎ 入間市公共施設あり方検討委員会の公開等について

委員会は原則公開とすること及び、市民から公開の要望があった場合、委員氏名のみ名簿を公表することについて委員の了解を得た。

(1) 入間市公共施設マネジメント白書から見た入間市の課題について

事務局から入間市公共施設マネジメント白書の概要版を用いて、入間市の課題について説明した。

(2) 入間市公共施設最適化基本方針の構成案について

事務局から、資料に基づき最適化基本方針の構成案と次の点を説明した。

- ・ 入間市公共施設最適化基本方針については、委員会の最後に原案を提出して委員の意見を受け、委員の承認を得るかたちで策定する予定であること。
- ・ 委員には主に基本方針、公共施設マネジメントに向けたアプローチについての意見をお願いすること。
- ・ 構成案はたたき台なので、追加する項目等あれば反映すること。

(3) 入間市の公共施設の課題と特徴について

○ 意見 再配置等について

- ・ 近年の開発動向をみると、市の活気が豊岡地区から藤沢地区に移っているように思う。金子・東金子地区等は郊外、西武地区はニュータウン、宮寺・二本木地区は茶畑というイメージがある。
- ・ 施設を縮小するのは難しいので、シビアな目で見なければならない。
- ・ 市街化区域と市街化調整区域はメリハリをつけて明確な方針をつくって施設配置を考えた方が良い。
- ・ 豊岡・藤沢地区は、人口も多いし公共施設の利用率も高いと感じるが、今の施設の機能が、現在や将来のニーズに合っていない。地区によってニーズが異なると思うので、施設の内容はその地区のニーズに合った方が良い。まず機能の面からみて施設を配置し、その後それぞれの規模を考えるのが良いと思う。
- ・ 将来を良く見通した思い切った手を打った方が良いと思う。どれくらいの規模でPPP・PFIを取り込んだらいいか等検討すべきである。
- ・ 再編成、維持管理については、出来るだけ多くの市民が納得しやすいような方向性を出すことが望ましい。
- ・ 施設を長く使うためには耐震やバリアフリー等の改修のことについても考えていかなければならない。既存の施設を再利用しながら、いらぬものを縮小したり

## 議事の概要（経過）・決定事項

無くしたりしないと、市民の税金も高くなってしまう。

- ・憩いの家は使われていないところも多い。公民館も部屋によっては使われていない部屋がある。使われていない機能等を検討し施設を有効利用する必要がある。
- ・アミーゴは文化的なものに利用が限られている。そういったことも考えて色々な場所で柔軟に利用を広げていけば利用率が高まるのではないか。
- ・高齢者は巡回バス等移動手段があれば行けるが、ないと行けないため、必然的に利用が少なくなる。
- ・各地区に必要な施設はそのまま維持してほしいが、他地区と共有できるものもあるのではないか。どの地区に住んでいても利用できるよう、巡回バスを増やす等して施設を減らしても対応出来るようにしてはどうか。数が少なくなっても利便性があれば良い。入間市は地域によって差が激しいため、公共施設が利用しにくく不便である。
- ・市民参加という形で地域の住民の意見を取り入れる場をつくりたい。
- ・高齢化や市民の嗜好を考え、将来の市民ニーズを想定するというのが大きなポイントを占める。

### ○ 意見 学校の有効活用について

- ・学校の割合が大きいので、施設の集約化や空き教室の有効利用等、学校をどうするか重要となる。
- ・小学校を地元の人が上手く活用してはどうか。
- ・実際に他市で小学校の空き教室でミニデイサービスや介護予防教室等行っている事例もある。今後介護保険から要支援 1 のサービスが外されることもあり、代わるものが必要な状況なので、公民館や憩いの家や学校の空き教室で、安くデイサービスができれば、という部分で具体化はしていないが検討が進められている。空き教室や衛生面、維持管理等がどうなのか確認が必要だが、できないことはない。元気に過ごせるが認知症予防が必要という段階の高齢者であれば、小学校を使うことも十分可能と思われる。交流することで、高齢者には生き甲斐ができ、小学生にとっても勉強になるのではないか。
- ・ソフト面で施設の維持管理等に、元気なシニアの方の有償ボランティア等を取り入れることにより、高齢者自身が元気になることや、運営費用の削減などの効果も考えられる。

### ○ 意見 長寿命化について

- ・長寿命化によってどれくらい維持できるかシミュレーションはしているのか。
  - シミュレーションはまだしていない。議論、方針に基づいて長寿命化についてはまとめたい。
- ・出来るのならやるに越したことはないが、技術者も必要になるし、長寿命化は先送りになるだけなのでデリケートに扱った方が良い。

議事の概要（経過）・決定事項

○ 意見 基本構成案について

- ・基本方針構成案について、基本方針に施設総量の縮減の項目があるが、適正規模・適正量をどう決めているのか伝わりにくい。また、マイナスの意味になるので、前提として、財政等について市民と危機感を共有し、理解してもらってから方針を示すべきである。
- ・一元的なマネジメントの実施について、縦割りではなく一括して管理運営をしていくという点は重要な部分だと思う。

○ 意見 総括

- ・適正規模と適正量をどのようにとらえるか。どのように配置し、絞っていくかについての考え方や地域のバランス等を検討していくべきである。
- ・共用化については、できるところは進めていった方が良いが、受け入れ方法等も考えて実行可能なものにする必要がある。
- ・マネジメントの部分では公的な予算、PPP、PFI をどのように、どのくらいの規模で取り入れていくか検討が必要である。

(4) 公共施設あり方検討委員会の論点について

現時点で追加したい項目等

- ・PPP、PFI 等、官と民の役割について
  - ・論点に施設機能の見直しを掲げたが、見直すとしたらどう見直すのか
  - ・目標値として数値的目標を立てた方が良いか
  - ・市民意見の反映方法や推進組織及び体制構築の道筋について
- 今の段階で追加の論点があれば次回までに論点整理としてまとめ送付する。  
→ 論点について、修正というよりは膨らませた形で第2回を進めていきたい。

9 その他

(1) 委員会スケジュールについて

今後の日程について確認し、次回第2回委員会は12月18日（木）午前9時30分からとし、それ以降のスケジュールで不都合があれば再度調整することになった。

10 閉会

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成26年12月18日

議長 の 署名

安登利幸